



広報  
No.288

～ 文教のまち西原 ～

# にしはら

町の世帯・人口  
(平成7年12月末現在)

世帯数	9,194世帯
人口	29,053人
男	14,754人
女	14,299人
12月の人口移動	
出生 22件	死亡 8件
転入 68件	転出 74件
婚姻 20件	離婚 3件

編集・発行／西原町役場文化広報課(広報係) 西原町字嘉手苺112番地 ☎098(946)9846 印刷／(協)丸正印刷



とじて保存すると便利です

### 今月の主な内容

- 平成8年ふれあい新春の集い
- 平成8年町成人式
- 町史だより
- 西原町ボランティア連絡会結成大会
- お知らせでーびる

△平安恒政町長らを囲んで新成人の記念撮影、ハイ、パチリ。

## 成人おめでとう、今年の新成人は694名 —— 平成8年町成人式 ——

平成8年町成人式が、1月15日午後、町民体育館で開催されました。今年の成人該当者は昭和50年4月1日～昭和51年4月2日生まれの男性389名、女性305名の計694名(3頁に関連)。



# 希望に満ちた新年を願う

## ——平成八年ふれあい新春の集い——

町内各種団体の共催による「平成八年ふれあい新春の集い」が、一月十三日午後、西原中学校体育館で開催され、原中学校体育館で開催され、町民や関係者ら約八百人が参加しました。

集いは、与那城長助区長会長による開会のあいさつではじまり、平安恒政町長、富春治町議会議長、呉屋定子町商工会会長がそれぞれ年頭のあいさつを述べました。

あいさつの中で平安町長は「土地区画整理事業やマリントウン・プロジェクト等の重



△約800人の町民が集った「平成8年ふれあい新春の集い」

¡Gracias por todo!

## グラシヤス・ポル・トド!

(スペイン語で「お世話になりました」の意)

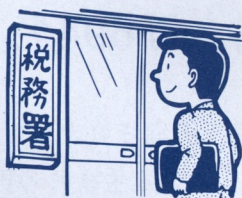
南米からの研修生 アルベルト君、  
シルビアさんに修了証



△「6ヵ月間の研修お疲れさま」と、平安町長から研修生に修了証が手渡されました。

アルベルト君は「町陸上競技大会や西原まつりなどへの参加や、日本の技術・文化を学ぶことができてとても有意義な研修でした。学んだ事を

「感謝の意を込めてお礼の言葉を述べたい」と研修修了の感想と関係者へのお礼、帰国後の抱負を述べました。



所得税の確定申告  
(2月16日～3月15日)

大切に、ベルに帰ってからもいろいろな事にチャレンジして頑張っていきたい、シルビアさんは「やさしく理解ある同僚に囲まれ、最新の機器で学ぶことができ、素晴らしい研修でした。アルゼンチンに帰っても日本語の勉強を続けたい」と研修修了の感想と関係者へのお礼、帰国後の抱負を述べました。

要プロジェクトについて述べ、「町民と行政が一体となって「文教のまち西原」づくりを」と参加者に行政への協力を呼びかけました。

引き続き、平安町長、富春治町議会議長、与那城区長会長、呉屋町商工会長、城間民子町婦人連合会長、与那嶺誠二町

老人クラブ連合会長らによる鏡開きが行われ、会場の参加者に樽酒がふるまわれました。宮平吉太郎町社会福祉協議会会長による乾杯の音頭を合図に会場のあちらこちらで交流が始まり、参加者たちの和やかな交歓風景が繰り広げられました。

また、共催各種団体の有志らによる余興も披露され、会場の雰囲気盛り上げました。

二月二十五日午後、西原共同福祉施設で行われました。修了式には、平安恒政町長をはじめ、町や議会、研修先の関係者、研修生の親類など約六十人が参加し、研修生の研修修了を祝いました。

アルベルト君とシルビアさんは、七月に来沖し、約六ヵ月間にわたりグラフィックデザインを町内の(協)丸正印刷で、日本語と日本語文化などを町中央公民館で学んできました。

修了式では、平安町長が研修生二人に対して修了証を交付後あいさつし、「研修の成果を生かし、沖縄と母国の国際交流の懸け橋となるよう祈念します」と激励しました。

引き続き、富春治町議会議長、研修先の与那覇正俊(協)丸正印刷理事長、研修生の身元引受人を代表して新垣盛栄さんがあいさつしました。



△修了記念に、研修生を囲んで。



# 今年の新成人は六九四名

## —平成八年町成人式—

平成八年町成人式が、一月十五日午後、町民体育館で開催されました。

今回の成人該当者は、昭和五十年四月二日から昭和五十一年四月一日までに生まれた男性三百八十九名、女性三百五名の計六百九十四名。

式典では、稲福恭助教育長による開式のことばの後、行政区ごとの成人者紹介が行われました。

主催者あいさつをした平安恒政町長は「若者らしく失敗を恐れずチャレンジ精神を旺



△式典後は、会場のあるこちらで記念写真をとりあう新成人の姿がみられた

盛にし、次代の担い手として本町が進める『文教のまち』づくりにも積極的にも参画を」と式辞を述べ、新成人たちを激励しました。

また、富春治町議会議長や城間期一町教育委員長が祝辞を述べ、成人を祝いました。

引き続き、平安町長から新成人代表二人に対して記念品が贈呈されました。

新成人を代表して宮平準也君と富島靖子さんが「先輩たちの教えと自ら身につけた教養を生きかし、自己の可能性を追求して、人の模範となる成人になることを誓います」と

力強く二十歳の決意を述べました。

式典後には、町内各種団体の代表者や各行政区の区長等、関係者を交え、成人者記念撮影や交流パーティーが行われました。新成人らは、お互いに写真を取り合ったり、談笑したりと二十歳の喜びを分かち合っていました。

このたび小橋川公民館が新築され、その落成記念式典が、十二月二十三日午後、同公民館で開かれました。



△新築された小橋川公民館。3代目にあたる。

## 新築された小橋川公民館の落成を祝う

### —小橋川公民館落成式典・祝賀会—

## 一口メモ

総務庁が一月十四日付で発表した推計人口によると、「成人の日」の十五日現在、二十歳に達する新成人は、全国で百八十八万人（男性九十七万人、女性九十二万人）。県内では、二万一千五百六十六人（男性一万九百五十七人、

女性一万五百五十九人、県青少年課調べ）。

新成人たちが生まれた一九七五年（昭和五十年）は、県内では沖縄国際海洋博覧会の開催、ひめゆりの塔火災びん事件、企業倒産の続出、全国的には、景気のどん底、就職難時代、空前のスト権ストなど激動の年でした。

式典には平安恒政町長、富春治町議会議長、城間期一町教育委員長、稲福恭助町教育長等の来賓をはじめ、大勢の区民が参加、落成を祝いました。

同公民館は、旧公民館の狭隘化と老朽化により新築されたもので、料理講習室や、会議室、ステージ、集会場などを備える生涯学習社会を視野に入れた近代的な建物。鉄筋コンクリート造二階建て、敷地面積約二百四十坪、建物面積約百五坪、延べ面積約百七十四坪。

小橋川区長でもある大嶺盛義建設委員会会長は、同公民

館を今後の地域自治活動の拠点と位置付け、「全ての区民に『安らぎの場』、『憩いの場』、『学習活動の場』として多目的に活用され、末長く親しまれる公民館に」と式辞を述べました。

また、式典では、事業経過報告、収支決算報告、祝辞、用地関係者や高額寄付者らに対する感謝状の贈呈、字章募集入賞者への表彰状の贈呈などがありました。

引き続き祝賀会が行われ、参加者全員で落成を祝いました。





△みんな輪になって、楽しくダンス  
(’95クリスマス・パーティーから)

### 町社協がクリスマスパーティーを開催

「楽しいクリスマスを」と、町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)は、12月23日午後、町社会福祉センターで、心身にハンディを持った子どもを対象とした「’95クリスマスパーティー」を開催しました。

宮平会長による主催者あいさつ、平安恒政町長による激励のことば(小川良夫助役代理)、小橋川勇西原ライオンズクラブ会長の乾杯の音頭に引き続いてパーティーは始まりました。

子どもたちは、町や町社協からのプレゼントをはじめ、高良幸人さん(福祉の店えぶろん指導者)や西原中学校3年7組の皆さん、宮里政和西原小学校校長、レク指導員の千代子さんなどたくさんのサンタさんから音楽療法、鉄琴演奏、手品、ダンスといった温かい様々なプレゼントが贈られました。



△第1ゲート狙って、エイヤッ。

### 寒風の中、打ち始め

町体育協会ゲートボール部主催による第12回町ゲートボール大会が、1月12日午前、兼久ゲートボール場で開かれました。

町内の各行政区から17チームが参加、それぞれの地域の名誉をかけて、寒風の中、元気にスティックを振っていました。

なお、大会結果は次の通り。

第1位=小波津Bチーム(糸数ヨシ子、小波津信子、小波津スミ、砂川芳、小波津春子)

第2位=平園チーム(花城清雄、崎原盛秀、安里サダ子、大浦貞吉、崎原盛儀、崎原ヨシ子)

第3位=幸地倅せチーム(翁長精三、与那嶺ヨシ、外間ハル子、与那嶺政子、与那嶺次郎、沢岬ヨシ) 小波津Aチーム(小波津盛恒、高原安三、小川カマド、呉屋カマ、呉屋カメ)

ま  
ち  
の  
話  
題



△大人から子どもまで参加した新春トリムマラソン

### さわやかに走り初め

今年で11回目を迎えた「だれでも、どこでも、いつでも気軽に参加できる」新春トリムマラソンが、1月13日午前行われました。

西原小学校をスタート・ゴールに、3キロメートルと5キロメートルのコースに合わせて約260人が参加しました。スピードを競う者やゆっくりと風景を楽しみながら走る人などそれぞれが思い思いに心地よい汗をかきました。

なお、競技結果は次のとおりです。(敬称略)。

【3km】第1位・新垣勇治(字我謝)、第2位・仲舛高史(字上原)、仲宗根武(字翁長)、第3位・新垣梨絵(字我謝) 【5km】第1位・荷川取忠一(字幸地)、第2位・糸数敏郎(字小橋川)、第3位・新里末守(字小橋川)



△手ほどきを受けながらのびのびと「書き初め」をする子どもたち

### 新春の希望をかきぞめに

平成8年町新春かきぞめ大会が、1月5日午前、町民体育館で開かれました。

稲福恭助教育長は「今回のかきぞめ大会から町教育委員会と町文化協会書道部会が共同で開催することとなりました。日頃から書道に親しみ、うるおいのある生活に役立ててください」と主催者あいさつを述べました。

久高秀山町文化協会書道部会会長は「今回から作品の審査はありません。のびのびと力強く書いてください」とあいさつし、書き方の指導役として書道部会のメンバーを紹介しました。

参加者は、それぞれ手本を前に、一筆一筆真剣な表情で取り組み、先生たちの字のハネやトメなどのアドバイスに熱心に聞き入っていました。



### 気持ちも新たに出初式

西原町、与那原町、南風原町の3町で構成する東部消防組合(管理者:平安恒政西原町長)は、1月9日、同組合構内で、出初め式を開催しました。

出初め式では、平安管理者のあいさつ、永年勤続者や優良職団員らに対する県消防協会からの表彰に引き続き、防災アピールや救助訓練、一斉放水などのデモンストレーションが行われました。

なお、被表彰者は次の通り(敬称略)。

【県消防協会表彰】▷永年勤続一大田 實、新垣和男、城間 修、玉城雅史、仲村安雄 ▷優良職団員一宮城哲也、宮城 透、糸数秀樹、中村毅彦、與那城義彦、島袋 健、大城 優、福田宗男、野原哲治、宮平 暢



△出初式後、救助訓練などが行われた

### 琉踊に親しもう—琉舞鑑賞会—

児童生徒の豊かな情操の涵養を<sup>かんよう</sup>と、町文化協会(屋良朝光会長)は、12月13日午後、西原小学校校体育館で琉球舞踊鑑賞会を催しました。

同鑑賞会の開催は、12月8日の坂田小学校に引きつづき2回目。4年生から6年生まで約300人が、7つの演目の一つ一つをじっくりと鑑賞、中には実際に見るのは初めてという子どもも。

鑑賞後、演目ごとの感想文を書くなど、子どもたちには郷土芸能のすばらしさと関心を高めるよい機会となりました。



△児童生徒の豊かな情操の涵養を—と催された「琉舞鑑賞会」

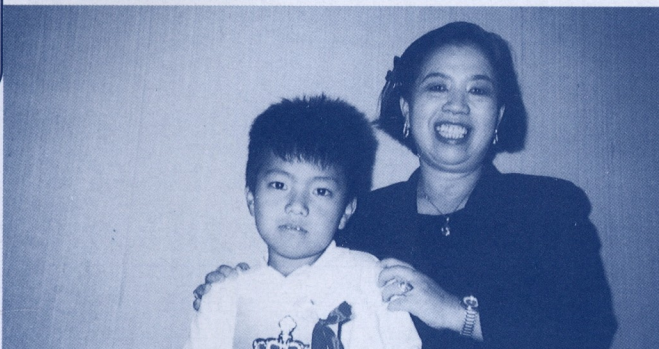
ま  
ち  
の  
話  
題

### 城間一成くんが珠算競技大会4年生以下の部で優勝

(社)全国珠算教育連盟沖縄県支部中部南支部主催による第13回中部南地区小中学生珠算競技大会が、12月17日午前、町中央公民館で開催されました。

本町を含む2市1町2村から246名の小中学生が参加、読上算や読上暗算などの計算の早さと正確さを競いました。

読上暗算4年生以下の部で城間一成(坂田小2年)君が優勝しました。また、城間君は、個人総合小学校2年生以下の部でも金賞を受賞しています。



△読上暗算4年生以下の部で優勝した城間一成君(坂田小2年、向かって右)と指導をしている片前先生

### (協)丸正印刷が人材育成に100万円を寄付

12月1日午前、「町の人材育成に役立ててください」と協業組合丸正印刷(与那覇正俊代表理事)が、町人材育成会(平安恒政会長)に対し、100万円の寄付を行いました。

平安会長は「進学する者をはじめ、各種事業に人材育成会の利用が年々増えています。ご芳志を有効に使わせていただきます」とお礼の言葉を述べました。



△(協)丸正印刷が町人材育成会へ100万円を寄付



# 地域に広げようボランティアの輪(和)!

## —西原町ボランティア連絡会結成大会—

町社会福祉協議会(宮平吉太郎会長)では、十二月十六日午後、町中央公民館で町ボランティア連絡会結成大会を開催し、町内のボランティア団体や個人ら約二百五十人が参加しました。

これは、人口の高齢化と少子化に伴い福祉分野への住民ニーズが複雑多様化し、質と量の両面にわたる担い手の確保と円滑な活動の推進が緊急かつ不可欠であることから、ボランティア活動のネットワークを形成し、活動の効率化とよりよい福祉サービスを提供しようと町内のボランティア

同連絡会では、事務局を西原町社会福祉センター内に置き、ボランティア活動や団体運営に関する情報交換、ボランティアの登録や組織化の推進など幅広い活動を行い、住民のニーズに応じていく予定です。

また、新垣ヨシさん(平和ボランティア)の「輝くあなたのために」と題する講演も行われました。

引き続き交流会があり、各会員は和気あいあいと親睦を深めました。

尚、社協では広く町民にボランティア連絡会への参加を求めています。

お問い合わせは西原町社会福祉センター内西原町ボランティアセンター(西原町字与那城百三十五番地、☎九四五―三六五二)まで。なお、役員は次の通り(敬称略)。

▽会長―座波進▽副会長―新川千代子・比嘉良富



△町内のボランティア団体や個人が多数参加して行われた連絡会結成大会

## オーケストラと“友”に歌声を披露

### —第3回チャリティークリスマスコンサート—

町文化協会洋楽部会(玉城佳子部長)主催による第3回チャリティークリスマスコンサートが、12月23日午後、町中央公民館ホールで開催され、立ち見の人だかりができるほどの好評を博しました。

洋楽部会員の融和と音楽文化の創造発展に貢献しようと開かれている同コンサート。

今回は、声楽家の伊江朝明氏や安座間和美氏、根路銘孝子氏、ピアノに上原良子氏などそうそうたるメンバーをはじめ、沖縄青少年オーケストラ(指揮:真栄城隆司氏)、西原東中学校吹奏楽部(指揮:比嘉正雄氏)、坂田小学校合唱部など幅広い層の人々が出演しました。また、「コールにしはら」を母体として多数の特別団員が参加した「クリスマスキャロル合唱団」が話題を呼ぶなど、出演者たちの素晴らしい演奏と歌声が、観客を魅了していました。



△沖縄青少年オーケストラと息のあった歌声を披露する「クリスマスキャロル合唱団」

### 【西原町ボランティア連絡会参加団体】

手話サークルふじ
手話サークルうんたま
西原高校ボランティアグループ
西老連ボランティアグループ
農協婦人部ボランティア
食事サービス調理ボランティア
食事サービス運搬ボランティア
食事サービス友愛訪問
友愛訪問棚原老人クラブ
友愛訪問小波津老人クラブ
友愛訪問翁長老人クラブ
かりゆし会御座持
琉球大学ボランティアサークル
理容組合ボランティア
ユイマール友の会
カラオケサークルボランティア
社協行事協力ボランティア
琉大付属中学校ボランティアサークル



町史だより  
—No.10—

町内井戸めぐり③

古井戸より出るもの

小波津団地の近くに津記武多グスクという遺跡があり、そのグスクの麓には、津記武多ガーと呼ばれる小さな古井戸があります。井戸の造りは円形の石積み(井戸口横九十七センチ、縦百十二センチ、深さ五十八センチ)で、現在は土砂で埋まり、水も枯れてしまっているのですが、グスクで使用されていたという伝承があります。また、この井戸が小さかったために津記武多グスクの按司(在地領主)が減びてしまった、という伝え話も残っています。

津記武多按司の妻はとてもきれいな人で、毎日の沐浴も



「グスクの麓にひっそりたたずむ津記武多ガー」

欠かすことがなかった。しかし津記武多ガーは小さく、水量もわずかであったので少し離れたティラサガー(現在の県営西原団地近く)まで通っていた。ある日、いつものようにティラサガーで髪を洗っていると、幸地グスクの按司・熱田子が通りかかり、その美貌にほれてしまった。そのことを知った津記武多按司は怒り、熱田子を滅ぼそうとするが、反対に返り討ちにあってしまう。

この話はあくまでも伝承に過ぎませんが、津記武多按司と熱田子の話は、近世の史料(『球陽』外巻・「遺老説伝」)にも記載されています。

津記武多ガー以外にも、町内の古井戸に関する伝承はたくさんあります。井戸の水は枯れてしまっても、それにまつわる話は今なおコンコンと湧き出るので。みなさんも近所にある井戸の話、聞いたことがありますか?

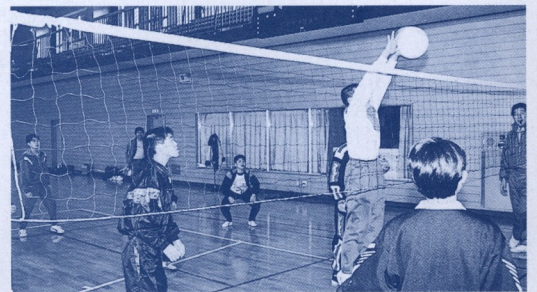
古井戸を発掘調査してみると何か出てくるかもしれませぬ。

友だちも、  
スキーもできたよ!

—第7回町青少年ふれあいの旅—



△みんなそろって、ハイポーズ!



△西原町といえば、やっぱり“バレーボール”。やるからには一生懸命。

青少年交流を目的とした「第七回町青少年ふれあいの旅」の交流団が、平成七年十二月二十六日から二十九日までの四日間、山梨県都留市を訪問しました。主催は、町(平安恒政町長)と町教育委員会(稲福恭助教育長)。

同事業は、海邦国体(昭和六十二年開催)バスケットボール競技開催会場であった西原町が、次回開催会場であった都留市への競技引き継ぎを契機に始まったもの。平成元年から隔年ごとに相互に交流団を派遣しており、今年度は本町から派遣しました。

上里善孝氏(坂田小学校校長)を団長に、引率八名、小



△みて、みて。スキーウェア、決まってるでしょう。

中学生四十八名で構成された交流団は、都留市で歓迎レセプション、夕食会、スポーツ交流を行いました。はじめは緊張していた団員たちも、次第にうちとけ、お互いの住所や電話番号を交換するなど和やかに交流していました。

また、体験学習のスキーでは、初体験に加え地元テレビ局の取材もあって、悪戦苦闘していた団員たちでしたが、慣れてくると指導の先生も驚くほどの上達ぶり。団員たちにとって、生涯忘れ得ぬ素晴らしい体験になりました。



# 平成8年度町県民税申告の受付を行います

西原町役場 税務課 町県民税係  
電話 945-4729(内線142)

## 《 受付日程表 》

年 月 日	時 間	場 所	行 政 区 名
平成8年2月16日(金)	午前 9:30~12:00	県営幸地高層住宅自治会事務所	幸地ハイツ・幸地高層住宅
	午後 1:30~ 4:30	幸 地 公 民 館	幸 地
平成8年2月19日(月)	午前 9:30~10:30	徳 佐 田 公 民 館	徳 佐 田
	午前11:00~12:00	森 川 公 民 館	森 川 ・ 千 原
	午後 1:30~ 3:30	上 原 公 民 館	上 原
平成8年2月20日(火)	午前 9:30~12:00	棚 原 公 民 館	棚 原
	午後 1:30~ 4:30	翁 長 公 民 館	翁 長 ・ 坂 田
平成8年2月21日(水)	午前 9:00~12:00	町役場二階大会議室	津花波・西原台団地・小橋川・内間・県営内間団地
	午後 1:30~ 4:30	町役場二階大会議室	掛保久・嘉手苅・小那覇 県 営 西 原 団 地
平成8年2月22日(木)	午後 1:30~ 4:30	兼 久 公 民 館	兼 久
平成8年2月23日(金)	午前 9:30~12:00	平 園 公 民 館	平 園
	午後 1:30~ 4:30	与 那 城 公 民 館	与 那 城 ・ 西 原 ハイツ
平成8年2月26日(月)	午前 9:30~12:00	美 咲 公 民 館	美 咲
	午後 1:30~ 4:30	我 謝 公 民 館	我 謝
平成8年2月27日(火)	午前 9:30~12:00	安 室 公 民 館	安 室 ・ 桃 原
	午後 1:30~ 3:30	池 田 公 民 館	池 田
平成8年2月28日(水)	午前 9:30~12:00	小波津団地自治会事務所	小 波 津 団 地
	午後 1:30~ 4:30	小波津集落センター	小 波 津 ・ 呉 屋

お知らせ  
でーびる



案内・募集

2月

## 注 意 事 項

- ① 申告受付期間は、2月16日(金)から3月15日(金)までですが、3月15日直前の申告の場合は、大変混雑し長時間お待ちいただくようなことになりかねませんので、できるだけ行政区ごとに予定されている日程に沿った申告をお願い致します。  
なお、2月16日から2月28日までに申告できなかった方については、3月1日から3月15日までに町役場税務課窓口で申告をなさして下さい。(但し、昼食時間、土曜日、日曜日を除く。)
- ② 申告は、コンピューターで印字された【平成8年度町県民税申告書】で受付いたしますので、必ず持参して下さい。  
◎印鑑も持参して下さい
- ③ 申告書に記入する場合、必ずえんぴつで記入をして下さい。
- ④ **給与支証明書**  
◎日雇及び給与の源泉徴収票が発行されていない事務所に勤務する方は必ず申告書の裏面に会社代表者の証明をもらって下さい。

### 町県民税の申告不要の方

- ① 税務署で所得税の確定申告をなさる方
- ② 収入金額が給与所得だけの方で勤務先から平成8年度給与支払報告書(平成7年分源泉徴収票)が提出され、かつ年末調整がなされている人

### ※西原町に納付する町県民税の口座振替受付について

口座振替を希望する方は金融機関の預金通帳及び印鑑(通帳使用印)を持参して下さい。



平成8年度上期(本年4月~9月)の労働安全衛生法に基づく各種免許試験の実施について

詳しくは、

九州安全衛生技術センター(0942-43-3381)か最寄りの労働基準監督署にお問い合わせ下さい。

### 電話加入権の公売

町税徴収と滞納町税の円滑な解消のため、差し押さえ中の電話加入権の公売を実施します。

#### 公売実施日

平成8年2月9日(金)※受付14:00~14:30

西原町役場2階大会議室

※印鑑(認印)を持参して下さい。

詳しいことは、西原町役場税務課へ

☎945-4729(内線143)

## 西原町人材育成会

### 平成8年度高等学校・大学(短大)学資金貸費生募集

西原町人材育成会は、町の振興開発を担う有為な人材の育成を目的として、高等学校及び大学(短大)に在学する町出身の生徒に対して学資を貸与するため、平成8年度貸費生を募集しています。

#### 1 貸費生の種類

県内・県外大学(短大も含む)、県内高校

#### 2 募集人員

各種とも若干名

#### 3 貸与月額等

県外大学(短大) 30,000円

県内大学(短大) 20,000円

県内高校 10,000円

#### 4 出願書類の受付期間

平成8年3月1日(金)~平成8年3月29日(金)までに

本会必着のこと

(土・日・祝祭日をのぞく午前9時から午後5時まで。但し、午後0時から午後1時まででは昼食時間のため受付できません。)

#### 5 応募書類の提出先及び連絡先

〒903-01 西原町字嘉手苧112番地

西原町人材育成会事務局(町教育委員会内) 電話 945-3655

### 沖縄県行政手続条例が施行されます。

沖縄県行政手続条例(平成7年沖縄県条例第28号)が、平成8年2月1日から施行されます。この条例は、県の条例等に根拠を置く処分等の手続に関し、基本的なルールを定めた条例です。当条例は大まかに三つの柱から構成されています。

第1に、許認可等の審査基準や標準処理期間を定め、公表することを行政庁に求めています。その結果、各種申請等の処理の過程が透明になり、又、その処理がスピーディーになります。

第2に、県民に対して権利を制限したり義務を課したりする、いわゆる不利益処分の手続(聴聞・弁明手続)を定め、県民の権利保護を手厚く保障します。

第3に、県の機関が行政指導を行う際の一般ルールを定め、又、行政指導の書面化を規定するなど行政指導の明確性・透明性が向上します。

◆問い合わせ先 沖縄県総務部人事課(Tel866-2090)又はケ県・市町村各種申請窓口

### 日本育英会

#### 奨学生 募集

詳しいことは

日本育英会沖縄県支部

(☎098-864-5272)

〒900 那覇市泉崎1-2-2

(県庁13階教育庁内)または、各学校の奨学係の先生にお尋ね下さい。

お知らせでーびる

### 町女団協主催「講演会」

- 1、日時 平成8年2月16日(金)午後6時
- 2、場所 西原町中央公民館大ホール
- 3、対象 町女性団体連絡協議会会員及び全町民
- 4、講師 放送大学沖縄地域学習センター長 尚弘子
- 5、テーマ 女性が豊かに生きるために

入場無料

### 自動車税の滞納整理強化月間中

沖縄県



まだの方はお早めに最寄りの銀行、農協等で納めてください。

### 寄付・香典返し

(ありがとうございました)

▽(協)丸正印刷(与那覇正後代表理事)が、一般寄付として町人材育成会へ百万円。

▽字上原二百四十五番地の二十五、屋良朝光さんが、故父朝政さんの香典返しとして町人材育成会へ十万円。

▽那覇市松山町二丁目二十一番地の十五、古謝将吉さんが、古希の祝いを記念して町人材育成会へ十万円。

▽字棚原七百八十五番地、城間富子さんが、福祉事業に役立ててくださると貯めた買物の釣銭を町社会福祉協議会へ一万六千四百七十六円。

▽字内間四百三十八番地の二、ホトスパー西原内間店(呉屋善勝オーナー)が、町内の障害者福祉に役立ててくださるとはばたき共同作業所(町社会福祉センター内)に二万円。

▽字小波津六百二十番地、西原ライオンズクラブ(小橋川勇会長)が、「第十四回チャリティー芸能の夕べ」の収益金のうち町社会福祉協議会へ十万円、町心身障害児(者)を育てる会へ十万円。

▽字小橋川百三十三番地の十四、小那覇義光さんが、古紙回収リサイクル運動の収益金六万五千八百十円を町社会福祉協議会へ。

▽那覇市松尾二丁目十六番地の十九、比嘉政隆さんが、故母ツルさんの香典返しとして町社会福祉協議会へ十万円。

▽字嘉手苧四十七番地、呉屋精要さんが、故母ウシヤさんの香典返しとして町社会福祉協議会へ五万円。

▽字小波津二百三十番地の四、福永美代さんが、故母金城カマドさんの香典返しとして町社会福祉協議会へ五万円。

▽字嘉手苧百五十五番地の二、新川文字さんが、故夫常次さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ五万円。

▽字幸地四百七十七番地、与那嶺富子さんが、故夫次郎さんの香典返しとして町社会福祉協議会へ十万円。



### 2月(Feb.)行事・祭事予定

- 1日(木) ○風疹(12カ月~90カ月児、13:30~14:30、町中央公民館)
- 4日(日) ○学芸会(西原小、西原南小)
- 6日(火) ○母親学級①(妊婦、13:30、町社会福祉センター、13日のみ町中央公民館、21日、27日)
- 7日(水) ○心配ごと相談所(14:00~17:00、町社会福祉センター、14日、21日、28日)
- 8日(木) ○DPT(12カ月~90カ月児、13:00~13:45、町中央公民館)
- 9日(金) ○三歳児健診(H4.10.9~H4.11.3生れ、13:30~14:15、町社会福祉センター)
- 11日(日) ○建国記念日
- 12日(月) ○振替休日
- 15日(木) ○1歳6カ月児健診(H6.7.19~H6.8.9生れ、13:30~14:15、町中央公民館)
- 16日(金) ○町女団協主催「講演会~女性が豊かに生きるために~講師:尚弘子(放送大学沖縄地域学習センター長)」(18:00、町中央公民館、入場無料)
- 18日(日) ○'96おきなワマラソン(沖縄市泡瀬県総合グラウンド)
- 20日(火) ○第11年次町学推協発表会(14:00、西原東中学校体育館)
- 22日(木) ○風疹(12カ月~90カ月児、13:30~14:30、町中央公民館)

### 3月(Mar.)行事・祭事予定

- 3日(日) ○乳児一般健診(H7.9.17~H7.12.3生れ、H7.3.17~H7.6.3生れ、9:00~10:00、13:00~14:00、町社会福祉センター)
- 6日(水) ○離乳食実習(乳児、13:30、町中央公民館)  
○心配ごと相談所(14:00~17:00、町社会福祉センター、13日、21日、27日)
- 7日(木) ○DPT(12カ月~90カ月児、13:00~13:45、町中央公民館)
- 11日(月) ○三歳児健診(H4.11.4~H4.12.8生れ、13:30~14:15、町社会福祉センター)

(※都合により日程変更もあります)

お知らせでーびる

## “西原町の将来都市像”を具体化 西原町都市基本計画策定に着手!

本町(平安恒政町長)では、現在、概ね20年後のまちづくりを計画した「西原町都市基本計画(=都市マスタープラン)」の策定業務を進めています。

平成7年12月11日午後、町役場2階議会会議室で、同計画検討委員会が開かれ、平安町長から9名の委員に対して委嘱状及び任命状の交付が行われました。委員互選の結果、委員長に池田孝之氏(琉球大学教養部教授)、副委員長に眞榮城守定氏(琉球大学教育学部助教授)が選出されました。

平安町長は本委員会の設置にあたり、「本町も都市化が進んでおり、今後はそれぞれの事業の整合性を図り、町全体にかかる将来のまちづくりの指針となる計画策定が必要です」と述べました。

池田委員長は「都市マスタープランは、町の将来像を策定するもので、実現には住民の参加が不可欠です」とあいさつし、さっそく第1回目の検討委員会を開催しました。

今後は、同委員会が本町の全体構想、地域別構想を策定したのち、都市計画課が本町の将来のまちづくりに対する意見や考え方を聴くため、住民説明会等の開催を予定しています。

### 緑の募金



毎年二回行われる、森林整備などのための募金運動。戦後の国土再建のため、昭和二十五年に国土緑化運動として始まった「緑の羽根募金」は、身近な緑化の推進に重要な役割を果たしてきました。ところが近年は、国内の森林・緑にとどまらず、広く地球的規模で、人類共通の財産である森林を守り育てていくことの気運が高まっています。これを支援するため、「緑の募金」による森林整備等の推進に関する法律」が平成七年六月から施行され、新たに「緑の募金」として生まれ変わりました。

この募金は、都道府県段階では知事の指定を受けた募金団体(都道府県緑化推進委員会、中央では農林水産大臣の指定を受けた団体(国土緑化推進機構)が行います。募金の目標額や寄付金の使途などは、学職経験者で構成する運営協議会の意見を聞いて決めます。

毎年、二月一日~五月三十一日、九月一日~十月三十一日に行われ、集まった寄付金は森林整備、緑化推進、国際緑化などに活用されています。

わたしたちは、勤労感謝の心を養い、物を大切にしましょう。(町民憲章)